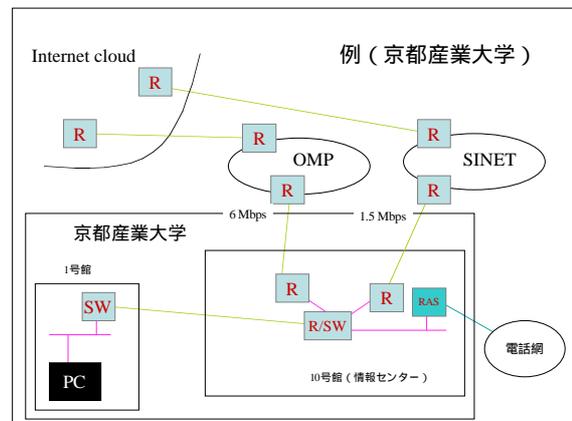


## 情報処理の概念

#11 インターネットの構造と歴史 / 2002 (春)

一般教育研究センター 安田豊



## インターネット

- 機能的な説明
  - さまざまなサービスが世界中でオープンに行われているネットワーク
- オープンとは
  - 対等な接続 (巨大企業も、個人も立場は同じ)
  - 利用可能なデータ転送能力には違いがあるかもしれないが、質的には違いはない
  - その接続は誰に対しても開かれている
  - その運営への参加もまた開かれている
  - インターネットは誰のものでもない

## IPアドレス

- インターネットにおける識別子
  - 接続されている全てのコンピュータに個別に割り当てられた番号。
  - 133.101.32.84 = 4 Bytes = 32bits
    - Max 4G addresses (世界人口 60 億 (6G) を下回る)
  - 互いにIPアドレスを指定して通信する
    - www.yahoo.com も、あなた個人の Web サイトも同じく IP を持っている
    - 211.14.13.226 = www.yahoo.co.jp
  - 対等な接続
    - アドレスを指定するだけで到達できるという意味で、全てのコンピュータはフラットに接続されている

## サービス

- ネットワークサービス
  - ネットワークを通じて得られるサービス
    - WWW / email など
  - サーバ・クライアントモデル
    - サービス提供者とサービス利用者に分かれる
  - ピアモデル
    - 利用者間で対等なサービスを相互提供、相互利用する
  - 実世界での例
    - レンタルビデオ vs 個人間の貸し借り

## サービス

- インターネットでは
  - 誰でもサービス提供者になれる
  - 個人が世界中に情報発信する
- Narrow Castの可能性に注目
  - Broad Cast、マスコミ以外の情報源
- 弊害もある
  - 偏った意見 (未調整の声が個人に) [資料]
  - 情報の受け手に自立、主体性を要求する

## トラブル

- インターネット N 年生社会 (N < 2? 6?)
- 既存の社会と様々な点でトラブル
  - 情報の信頼性 ([資料 1987, bit, ワープロ犯罪])
  - 個人情報保護法案との衝突 [資料]
- 何が問題か?
  - その現象、原因などについて考えていきたい/考えられるようになって欲しい

## トラブル

- 君たちの世代特有の問題もある
  - 大学以前の教育で教えてもらえない
  - 社会では一人前と見なされる
  - 後の世代は問題ない(かも)
  - 周囲に正しい事を教えてくれる人もいない
    - 大人も間違っている
    - 就職活動のためにメールアドレスを書かせる
    - 不達の可能性は?
  - 自分たちの理解・判断を正確・柔軟に